



ヒートポンプの普及について

森脇 雄二 有限責任中間法人
日本エレクトロヒートセンター 理事

地球環境問題解決に向けた電力の需要面における切り札として、エアコンやエコキュートに採用されているヒートポンプを広く普及させることが重要となっております。

当センターも今年度から（財）ヒートポンプ・蓄熱センターに代わって、「高効率空調機導入支援事業」および「エコキュート導入支援事業」を事業開始し、その普及のお手伝いを行っているところです。

しかしながら、このヒートポンプについて、その仕組みや技術の良さ、能力の高さが広く理解されているとは言い難いと思っております。

最近、ヒートポンプの効率は飛躍的に向上し、家庭用のエアコンのCOPはこの10年間で約2倍になっています。現在家庭の暖房や給湯の9割以上は燃焼式ですが、もしこれらをヒートポンプ式に置き換えることができれば、暖房・給湯から出るCO₂の約7割をカットできる（財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター試算）と言われています。

このような素晴らしい技術とポテンシャルを有する、エコキュートを始めとするヒートポンプをさらに普及拡大させるため、国、関連業界・団体と力を合わせて業界を挙げて取り組んで行く必要があります。

そのような普及拡大活動の身近な例として、当社におけるヒートポンプの普及活動の中心となってきた「ヒートポンプ研究会」についてご紹介します。

当研究会は、「ヒートポンプならびにその応用についての調査研究を行うとともに、その普及促進に寄与することを目的」として、昭和58年に総合建設業者、設計事務所、設備工事会社、メーカーなど17会員で結成されました。結成後24年を経過した現在、71社、1団体、5名の計77会員を数えるまでになるなど、多くの関係者の支持をいただき活動の輪を広げてまいりました。

具体的な活動としては、年3回の会報「ヒートポンプとその応用」の発行、情報交換会開催（年5回程度）、施設見学会、講演会開催などで、会員はもちろんのこと多くのヒートポンプユーザー、施工者、研究者などに参加していただいております。

このような活動を通じて、中国地方におけるヒートポンプの普及にいささかなりとも貢献してきたのではないかと感じているところです。

今後も、ヒートポンプやその応用技術（例えば蓄熱）の一層の拡大に向けて活動内容を充実させ、その良さを広めて行くとともに、全国の関係者に役立てていただける技術情報の発信に努めて行きたいと思っております。

全国でもこのような活動が多様な形で多数行われているものと思います。

エネルギー需給問題と温暖化問題を同時に解決できるヒートポンプの普及拡大に、会員の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

当センターでは電気加熱・冷却システムの普及を促進して行くことも大きな柱であり、ヒートポンプの普及とともに、これらを実現することにより、環境負荷の低い、省エネルギー社会をめざしてまいりたいと思っております。

引き続き会員の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

（もりわき ゆうじ） 中国電力(株) 販売事業本部 部長（エネルギー営業）